



学校における不祥事根絶に向けた取組の徹底について

東海村立東海中学校長 野上 幸広

◆はじめに

教職員による不祥事は、学校教育への信頼を大きく裏切るものであり、なんとしても根絶しなければなりません。

本校では、不祥事根絶に向け、より一層の服務規律の確保に努め、皆様の期待に応えられるよう努力して参ります。

◆東海中学校の取組

1 コンプライアンス研修の実施（毎月）

『「東海中学校」からコンプライアンス違反を絶対に出さないために』を目標に掲げ毎月コンプライアンス研修を行っています。校内コンプライアンス推進委員会を中心に役割分担をして、研修を企画・運営しています。ワークシートを活用したり、意見を交流したりして「自分事」として考えられるようにしています。

【研修テーマ例】

- ・体罰の撲滅
- ・子どもの人権
- ・個人情報の管理
- ・飲酒運転の撲滅
- ・公金、学校徴収金の取り扱い
- ・セクハラ、わいせつ行為の根絶
- ・情報モラル、SNS 等
- ・知的財産権

2 コンプライアンスチェックシートで自己点検（毎月）

コンプライアンスチェックシートで自己の行動について振り返りをし、自分の弱点を再認識しています。定期的に自己点検し、コンプライアンス推進委員や管理職が確認し、未然防止に努めています。

3 不祥事関連の事例・通知文を通しての情報共有

新聞記事になった不祥事案、国・県等から届く通知文、また、茨城県教育委員会から学校に届く「One IBARAKI」を参考にして、自分に置き換えて考える時間をもっています。

※ One IBARAKI とは・・・

茨城県の教職員として、コンプライアンスの意識を高め、子どもたちに誇れる仕事をしていくために参考となる内容が掲載された資料です。

4 管理職による教職員との個人面談の実施及び同僚性の構築

教職員のストレスや個人的な悩みが不祥事の遠因にならないように、管理職が面談等を通して、教職員のメンタルヘルスの維持について注視していきます。

また、放課後等に、教職員同士がゆったりと会話ができる場を設け、同僚性を構築し、悩みを一人で抱え込まないように、風通しのよい職場の雰囲気づくりに努めています。

5 その他

- 安全点検日（毎月）には、施設の点検に加え、更衣室やトイレ等に不審物がないかも確認します。
- 密室で面談等をしないようにします。
- 生徒及び保護者とのメールの連絡は、基本的に学校メールを活用し、私的なやりとりをしないようにします。